

令和6年度 自己評価表

真駒内保育園

※ 網掛部分が園の自己評価結果

1 運営理念

評価内容		評価		
①	保育理念・基本方針が明文化され周知が図られている。	A	B	C
②	定期的に職員会議などを実施し、職員の資質の向上、業務効率化など改善に努めている。	A	B	C

2 保育内容

評価内容		評価		
(1) 全体計画の編成		評価		
①	保育所の理念、保育方針や目標に基づき、子どもの心身や発達や家庭、地域の実態に応じて全体計画を編成している。	A	B	C
(2) 保育環境の整備		評価		
①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A	B	C
②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育をおこなっている。	A	B	C
③	子どもの基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている	A	B	C
④	子どもの主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	A	B	C
⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるように適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	B	C
⑥	3歳児未満(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるように適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	B	C
⑦	3歳以上の保育において、養護と教育が一体的に展開されるように適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	B	C
⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	B	C
⑨	1日の生活を見通した保育のために環境を整備し、保育や内容に配慮している。	A	B	C
⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮している。	A	B	C
(3) 健康管理		評価		
①	子どもの健康管理を適切に行っている	A	B	C
②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	A	B	C
③	アレルギー疾患、慢性疾患などのある子どもについて、医師からの指示を受け適切に対応をおこなっている。	A	B	C
④	職員が新型コロナ、インフルエンザ等各種の感染症に強い関心と意識を持っている。	A	B	C
⑤	各種感染症に対して子ども達が安心して生活できる対策が出来ている。	A	B	C
⑥	研修等により、感染拡大を防止するための方法や知識を習得している。	A	B	C

(4) 食事		評価		
①	食事を楽しむことができるように工夫している。	A	B	C
②	子どもがおいしく安心して食べることができる食事を提供している。	A	B	C

3 子育て支援

(1) 家庭・保護者との連携		評価		
①	子供の生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A	B	C
②	保護者が安心して子育てができるように支援を行っている。	A	B	C
③	家庭での虐待など権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A	B	C

4 保育の質の向上

(1) 保育実践の振り返り		評価		
①	保育士などが主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A	B	C
②	研修等を通して学んだことを職員同士で確認し合い、実際の保育に生かしている。	A	B	C

※ 評価基準

○ よくできている A

○ ほぼできている B

○ 努力が必要 C